



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保田 寿治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長

(氏名) 裕 光司

TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,509	5.3	10	△70.5	19	△64.2	12	△65.7
28年3月期第1四半期	1,434	21.3	37	—	54	—	36	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △52百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	1.70	1.68
28年3月期第1四半期	5.00	4.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	13,034	11,282	85.8
28年3月期	13,221	11,398	85.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 11,182百万円 28年3月期 11,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	1.5	200	△11.1	220	△12.4	140	△20.7	19.26
通期	7,500	0.4	650	0.1	680	△0.9	450	△5.5	61.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	9,205,249 株	28年3月期	9,205,249 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,900,975 株	28年3月期	1,934,975 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	7,274,223 株	28年3月期1Q	7,209,327 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速の継続や英国のEU離脱による欧州経済への影響懸念から、先行き不透明な状況が続きました。また、わが国経済は、個人消費や設備投資の停滞により、予断を許さない状況で推移しました。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります鉄鋼業、化学工業、印刷業、紙加工業、電子部材メーカーなどの設備投資に向けた動きについても、不透明な景気動向を見据えて慎重なものとなりました。

このような情勢の下、当社グループは、引き続きいかなる環境下においても成長できる経営の実現を目指し、付加価値の高い製品・サービスの提供により顧客の抱える課題を解決するソリューション型ビジネスモデルへの変革に取り組んできました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高1,509百万円(前年同期比105.3%)、営業利益10百万円(前年同期比29.5%)、経常利益19百万円(前年同期比35.8%)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は12百万円(前年同期比34.3%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります国内鉄鋼メーカーは、戦略的観点から海外新規設備投資に注力する一方、国内生産体制再構築のために老朽設備の修理や更新も積極的に進めました。また、海外鉄鋼メーカーは、一部高級鋼材メーカーを除き設備投資に向けた動きは限られたものとなりました。このような状況の下、当社グループは、国内鉄鋼メーカーに対し、老朽設備の修理、更新、部品販売といったメンテナンス需要の獲得に注力するとともに、鉄鋼製品の品質と生産効率の向上につながる製品の積極的な提案に努めました。また、海外鉄鋼メーカーに対し、ASEAN諸国を中心とした高級鋼材メーカーへ向けて、国内での長年にわたる実績をアピールすることにより新規需要の開拓に注力しました。

その結果、当事業の売上高は576百万円(前年同期比119.6%)、セグメント利益は74百万円(前年同期比72.1%)となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、フラットパネルディスプレイ向け電子部材関連の設備投資に慎重な傾向が続きました。もう一方の主要取引先であります印刷業界は、商業印刷市場の縮小に伴い、設備投資についても引き続き厳しい環境となりました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界並びに印刷業界の中でも需要の安定した軟包装や特殊印刷市場へ向けて、パターン認識技術を応用した耳端位置制御装置の新製品の販売、修理・部品販売等のメンテナンス需要の獲得に注力しました。

その結果、当事業の売上高は644百万円(前年同期比103.9%)、セグメント利益は103百万円(前年同期比182.1%)となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要製品であります無地検査装置は、フラットパネルディスプレイや二次電池等の電子部材関連設備投資を主な対象に、引き続き豊富な製品ラインアップによる提案を進めました。

もう一つの主要製品であります選果装置は、国内老朽設備の更新需要を捉えることに加え、海外の新たなニーズの獲得に注力しました。

その結果、当事業の売上高は282百万円(前年同期比86.7%)、セグメント損失は16百万円(前年同期はセグメント利益16百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて187百万円減少し13,034百万円となりました。これは主に商品及び製品の増加128百万円、現金及び預金の増加89百万円、原材料及び貯蔵品の増加42百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少251百万円、仕掛品の減少94百万円、投資有価証券の減少53百万円、流動資産その他の減少49百万円などがあったことによります。また、負債は前連結会計年度末に比べて72百万円減少し1,751百万円となりました。これは主に未払費用の増加156百万円、流動負債その他の増加68百万円、未払消費税等の増加23百万円があったものの、未払法人税の減少138百万円や支払手形及び買掛金の減少67百万円、長期借入金の減少45百万円、工事損失引当金の減少30百万円、繰延税金負債の減少19百万円、役員退職慰労引当金の減少12百万円、役員賞与引当金の減少11百万円があったことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べて115百万円減少し11,282百万円となりました。これは主に親会社株式に帰属する四半期純利益12百万円による利益剰余金の増加、自己株式売却による増加21百万円、退職給付に係る調整額の増加15百万円があったものの、配当による利益剰余金の減少73百万円、時価下落による有価証券評価差額金の減少44百万円、為替換算調整勘定の減少28百万円などがあったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、概ね当初予想した範囲で推移しており前回発表(平成28年5月18日決算短信)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,485,235	4,574,502
受取手形及び売掛金	2,909,710	2,657,885
有価証券	31,317	28,770
商品及び製品	1,074,256	1,202,801
仕掛品	497,029	402,674
原材料及び貯蔵品	439,841	482,814
繰延税金資産	160,382	160,933
その他	181,994	132,327
貸倒引当金	△23,713	△22,264
流動資産合計	9,756,053	9,620,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,365,292	1,340,354
機械装置及び運搬具(純額)	65,823	67,152
工具、器具及び備品(純額)	52,136	56,117
土地	644,942	644,942
建設仮勘定	1,151	-
有形固定資産合計	2,129,346	2,108,566
無形固定資産		
リース資産	67,184	59,100
その他	17,289	19,773
無形固定資産合計	84,473	78,873
投資その他の資産		
投資有価証券	979,546	926,010
長期貸付金	164,820	160,774
繰延税金資産	-	10,076
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	149,148	168,647
貸倒引当金	△60,544	△57,992
投資その他の資産合計	1,251,676	1,226,221
固定資産合計	3,465,497	3,413,661
資産合計	13,221,551	13,034,108

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,160	269,801
1年内返済予定の長期借入金	151,988	151,988
リース債務	31,935	31,244
未払費用	374,917	531,169
未払法人税等	154,141	15,428
未払消費税等	22,857	45,894
役員賞与引当金	15,000	3,750
工事損失引当金	64,106	33,535
その他	211,392	281,744
流動負債合計	1,363,501	1,364,557
固定負債		
長期借入金	356,026	310,029
リース債務	36,112	28,654
役員退職慰労引当金	18,842	6,471
退職給付に係る負債	38,827	41,427
繰延税金負債	10,109	-
固定負債合計	459,917	386,582
負債合計	1,823,418	1,751,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	5,383,472	5,318,835
自己株式	△1,291,970	△1,270,531
株主資本合計	11,288,501	11,245,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,350	△15,282
為替換算調整勘定	96,331	67,642
退職給付に係る調整累計額	△131,253	△115,319
その他の包括利益累計額合計	△5,572	△62,959
新株予約権	28,189	21,263
非支配株主持分	87,013	79,360
純資産合計	11,398,132	11,282,968
負債純資産合計	13,221,551	13,034,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,434,013	1,509,615
売上原価	898,813	1,004,856
売上総利益	535,200	504,758
販売費及び一般管理費	498,157	493,846
営業利益	37,042	10,912
営業外収益		
受取利息	3,755	3,289
受取配当金	9,709	11,143
補助金収入	14,000	-
その他	7,601	6,639
営業外収益合計	35,065	21,071
営業外費用		
支払利息	1,441	1,173
為替差損	-	4,697
固定資産圧縮損	14,000	-
環境対策費	-	4,740
その他	2,065	1,810
営業外費用合計	17,507	12,421
経常利益	54,600	19,563
税金等調整前四半期純利益	54,600	19,563
法人税等	20,054	10,368
四半期純利益	34,546	9,194
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,479	△3,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,025	12,354

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	34,546	9,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,590	△44,632
繰延ヘッジ損益	△569	—
為替換算調整勘定	4,939	△33,181
退職給付に係る調整額	5,377	15,934
その他の包括利益合計	112,338	△61,879
四半期包括利益	146,885	△52,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,331	△45,032
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,445	△7,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	482,365	620,541	325,396	1,428,302	5,711	1,434,013	-	1,434,013
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	482,365	620,541	325,396	1,428,302	5,711	1,434,013	-	1,434,013
セグメント利益 又は損失(△)	103,809	56,973	16,293	177,075	△11	177,064	△140,022	37,042

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△140,022千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	576,894	644,917	282,153	1,503,964	5,651	1,509,615	—	1,509,615
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	576,894	644,917	282,153	1,503,964	5,651	1,509,615	—	1,509,615
セグメント利益 又は損失(△)	74,882	103,755	△16,900	161,737	△124	161,613	△150,701	10,912

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△150,701千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。